

令和5年度 社会福祉法人慈久福祉会 事業報告

各事業の稼働状況

事業	稼働率	特記事項
施設入所支援	90.9% (平均 54.5 人)	退所者 8 人(逝去 7 人、入院 1 人)、新規入所者 6 人 入院による不在総日数 603 日
生活介護(慈)	92.4% (平均 55.4 人)	10 月から生活介護(通所)を開始 通所利用者総数延べ 158 人
短期入所	77.5% (平均 2.3 人)	緊急受入 6 人(台風接近 3 人、家族事情 3 人)
生活介護(や)	98.5% (平均 14.8 人)	上半期稼働率 93%、下半期稼働率 102% 令和 6 年 4 月から定員変更、定員 17 人(2 人増員)
放課後等デイ	100.7% (平均 10.1 人)	

職員の働く環境改善として慈久園利用者ベッドに見守りシステム、やまさんトイレに天井走行リフトを新たに導入し現場職員の負担軽減を図った。インカム等の通信機器はデモ機を試用し導入に向け進めている。

ソフト面では永年勤続表彰者に対し、新たな特別休暇の付与、衛生委員会が中心となり職場環境改善に取り組み、中でも給水器の設置は好評であった。また、勤務表作成にあたり、子育てなどの事由による希望シフトを可能な限り反映させることで家庭との両立に負担が少ないよう配慮した。職員採用では、特定技能 4 人を採用した。

利用者支援においては、新型コロナウイルス感染症が 5 類となり、徐々に外出の機会を増やしてきた。慈久園利用者に感染者はなかったが、職員には家庭内等による感染がみられ、来園者の受け入れ等は慎重に対応せざるを得なかった。やまさん利用者にも時折感染が見られ、その都度検査をしながらの対応となった。コロナ禍を過ぎ、社会全体が開放的になっていく中であって、入所利用者の生活は変わらない状況に疑問を感じ、次年度の活動交流館事業へとつながった。

法人運営に向けた職員の意識向上のため、毎月の管理職会議で事業の運営状況や収支状況の共有、事業を進める中での課題や職員処遇等を協議し管理者会議に上申した。また、役付き職員も事業所をまたいだ各係の課題の共有に加え、係ごとの取り組みを発表する機会を設けた。

法人の財産管理として、慈久園の北側借地駐車場賃貸借契約を解除。それに伴い園敷地と西側駐車場をつなぐ佐賀線跡地の通行を巡り、市や行政区長との話し合いを重ね多くの時間を費やしたが解決に至らなかった。申請を一旦取り下げ、時間を置くこととした。

災害復旧ボランティアとして、8 月に久留米市の水害被災地へ職員 3 人、1 月に発生した能登半島地震被災地へ 3 人の職員を派遣した。混乱時の応援を通し、自然災害への備えを学ぶ機会にもなった。

障がい者支援施設 慈久園

【総務課 総務係】

1 法人運営の円滑な継続

(1) 適切な法人運営

<理事会、評議員会、監事会、評議員選任・解任委員会の開催状況>

監事会 令和5年6月2日	・令和4年度監査
第198回理事会 令和5年6月10日	・令和4年度事業報告並びに収支決算報告(監査報告含む)について ・令和4年度社会福祉充実計画について ・公印規程の制定について ・職員給与規程の一部改正について ・次期理事候補者並びに次期監事候補者について ・次期評議員選任・解任委員会の開催日程について ・辞任に伴う評議員候補者について ・次期評議員会の開催日程並びに議案について ・社会福祉法人慈久福社会 定款変更について
第4回評議員選任・ 解任委員会 令和5年6月14日	・評議員の選任について
第88回評議員会 令和5年6月25日	・令和4年度事業報告並びに収支決算報告(監査報告含む)について ・令和4年度社会福祉充実計画について ・社会福祉法人慈久福社会 定款変更について ・次期理事並びに次期監事の選任について
第199回理事会 令和5年6月25日 (欠席 泉賢祐)	・理事長の選定について ・評議員選任・解任委員の選任について
第200回理事会 令和5年7月29日	(協議・検討事項) ・駐車用地賃貸借契約の解除について
理事会の決議の省略 令和5年8月17日	・指定相談支援センターホープ運営規程の一部改正について
第202回理事会 令和5年11月5日	・佐賀線跡地の利用申請に係る対応の見直しについて ・職員給与規程の一部改正について ・令和5年度第1次補正予算について
第203回理事会 令和6年2月4日	・地域生活応援センターやまさん運営規程の一部改正について ・育児休業等に関する規程の一部改正について
第204回理事会 令和6年3月17日	・令和5年度第2次補正予算について ・令和6年度組織体制の一部変更について ・令和6年度事業計画並びに収支予算について ・職員就業規則並びに職員給与規程の一部改正について ・旅費支給規程の一部改正について

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定個人情報取扱規程の一部改正について</li> <li>・次期評議員会の開催日程並びに議案について</li> </ul>
第 89 回評議員会 令和 6 年 3 月 31 日 (欠席 牟田口博美)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5 年度第 2 次補正予算について</li> <li>・令和 6 年度事業計画並びに収支予算について</li> </ul>

## (2) 収入状況の安定

### < 助成金活用状況 >

交付決定月日	事業内容	交付決定額
9 月 4 日	福岡県障がい分野のロボット等導入支援事業 (慈久園 見守りシステム導入)	1,575,000 円
10 月 19 日	福岡県社会福祉施設等物価高騰対策支援金 (慈久園、やまさん、ホープ)	2,533,500 円
11 月 15 日	みやま市社会福祉施設等物価高騰対策支援金 (ブレス)	27,800 円
2 月 15 日	みやま市社会福祉施設等物価高騰対策追加支援金 (ブレス)	53,700 円
2 月 20 日	福岡県社会福祉施設等物価高騰対策支援金 令和 5 年度下期分(慈久園、やまさん、ホープ)	2,718,400 円
2 月 29 日	福岡県障がい福祉等事業者に対するサービス継続 支援事業費補助金(慈久園、やまさん) 4~9 月分	391,000 円
3 月 22 日	福岡県障がい福祉等事業者に対するサービス継続 支援事業費補助金(慈久園) 10~12 月分	904,000 円
3 月 28 日	福岡県障がい福祉等事業者に対するサービス継続 支援事業費補助金(慈久園、やまさん) 1~2 月分	194,000 円

### < 加算の算定状況 >

事業	加算	算定開始	備考
施設入所支援	栄養マネジメント加算	令和 5 年 5 月 1 日	管理栄養士退職により 令和 5 年 6 月末で中止

※令和 5 年 10 月に管理栄養士を採用し、加算算定に向けて準備を進めている。また、令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定に伴う報酬算定要件の確認等を進めている。

## (3) 適切な財産管理

### < 基本財産の取得状況 >

取得月日	取得物件	所得理由
6 月 1 日	みやま市高田町岩津字高木 311 番 1 695.59 m <sup>2</sup>	やまさん敷地

※7 月に不動産取得税、9 月に固定資産税の非課税申請を行った。

### < 事務所移転 >

移転月日	住所	対象事業所
8 月 1 日 (7 月 27 日契約)	(移転後) みやま市瀬高町下庄 396-5 158.94 m <sup>2</sup> (移転前) みやま市瀬高町小川 250-2 135.88 m <sup>2</sup>	ホープ

<契約解除>

解除月日	契約内容	備考
8月31日	駐車用地賃貸借契約(慈久園北側職員駐車場)	古賀窯業

※9月以降は、慈久園玄関前駐車場と西側駐車場を使用している。

<固定資産の取得状況>

取得月	事業所	内容	業者
4月	やまさん	スヌーズレン	エスプリ
5月	慈久園	屋外用ごみ箱	丸善産業
7月	ホープ	事務所用エアコン	ケーズデンキ
〃	慈久園	居室用エアコン	九電工
9月	慈久園	2階多目的室用液晶テレビ	丸善産業
11月	慈久園	厨房給湯器	九電工
1月	やまさん	天井走行リフト	東京ダイヨー
2月	慈久園	事務所デスクトップPC更新(2台)	諸井会計

<工事、設備品交換、修理、衛生管理>

実施月	事業所	内容	業者
4月	慈久園	厨房換気扇取替工事	九電工
〃	〃	受水槽バックアップ配管追加工事	〃
〃	〃	中央トイレ排水管修理工事	〃
〃	〃	高圧ケーブル交換工事	瀬口組
5月	慈久園	浄化槽原水ポンプ交換工事	だるま商事
〃	〃	浴室シャワーホース交換工事	九電工
〃	やまさん	東側車輛通路工事	柿原組
〃	慈久園	定期床清掃	テスサービス
〃	やまさん	定期床清掃	テスサービス
6月	慈久園	浴室シャワー蛇口交換工事	九電工
〃	〃	厨房給湯器部品交換工事	〃
7月	やまさん	天井走行リフト修理	東京ダイヨー
〃	慈久園	脱衣所エアコン修理	九電工
〃	〃	B-1居室エアコン修理	〃
〃	〃	厨房床補修工事	瀬口組
8月	ホープ	事務所移転に伴う防犯カメラ移設工事	にしけい
〃	慈久園	レストランエアコン修理	九電工
9月	慈久園	北側駐車場返却に伴う整備工事	瀬口組
〃	慈久園	レストランエアコン修理	九電工
10月	慈久園	A-14居室前廊下エアコン修理	九電工
11月	慈久園	中央トイレ排水管修理工事	九電工
〃	〃	定期床清掃	テスサービス
12月	慈久園	飛散防止フィルム貼付工事	誠新産業
〃	やまさん	定期床清掃	テスサービス

12月	慈久園	C-5 居室前廊下エアコン修理	九電工
〃	〃	C-11 居室前廊下エアコン修理	〃
1月	やまさん	ノートパソコン SSD 交換(6台)	諸井会計
2月	慈久園	医務室前廊下エアコン修理	九電工
3月	慈久園	乾燥機修理	東京洗染

<公用車関係>

実施月	事業所	内容	車種
4月	やまさん	ワイヤレスキー交換	ハイゼット(885)
5月	やまさん	左サイドミラー交換	タント
8月	やまさん	乗降リフト修理	やまさん2号
10月	やまさん	車いすリフトワイヤー交換	シエンタ
12月	慈久園	運転席ドア凹み修理	ワゴンR
2月	やまさん	バックドア修理(追突事故)	やまさん3号
3月	慈久園	アクセルロック修理	ひまわり3号

2 働きやすい環境づくり

(1)職員への丁寧な情報提供

<就業規則等の見直し状況>

改正月日	改正規則等	改正内容
6月10日	職員給与規程	ベースアップ等支援加算手当、特別勤務手当、業務手当(相談支援)の変更
11月5日	職員給与規程	慈久園地域手当新設
3月17日	職員就業規則	勤務時間(夜勤)の変更
〃	職員給与規程	処遇改善臨時特例交付金手当新設

※規程改正等のため、6月、7月、12月、3月に延べ34回職員説明を行った。また、令和6年10月からの社会保険の適用拡大について、11月に対象職員へ説明を行った。

<各種休暇の取得状況>

	慈久園	やまさん	相談支援	計
年次有給休暇取得率	71.2%	77.2%	62.2%	72.5%
リフレッシュ休暇取得率	85.7%	83.3%	100.0%	85.7%
特別休暇取得者(日数)	11人	12人	2人	25人
【新型コロナウイルス感染症】	(49日)	(48日)	(9日)	(106日)
特別休暇取得者(日数)	8人	6人	2人	16人
【インフルエンザ】	(31日)	(20日)	(6日)	(57日)

<研修等への参加状況>

※( )は、令和4年度の参加状況 (人)

	慈久園	やまさん	ホープ	ブレス	計
集合研修	43(36)	11(8)	9(1)	7(3)	70(48)
オンライン研修	14(52)	4(6)	11(15)	2(7)	31(80)
計	57(88)	15(14)	20(16)	9(10)	101(128)

<抗原定性検査>

(回)

実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
慈久園	4	5	4	4	8	6	5	4	4	5	4	4	57
やまさん・プレス	3	5	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	51
ホープ	2	5	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	50
陽性反応(人)	0	1	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	6

※福岡県の「高齢者施設等(入所・通所・訪問系)の職員等を対象とした新型コロナウイルス感染症に係る検査事業」が令和6年3月31日をもって終了となる。

3 職員確保と育成

(1) 職員確保の取組強化

<入職者及び退職者の状況>

(人)

	正規職員	準職員	パート職員	専門パート	特定技能	計
入職者	6	2	5	3	4	20
退職者	10	2	3	4	0	19

※グローバルスタッフ(特定技能)の雇用を進め、7月10日に1人(インドネシア国籍)、9月1日に2人(インドネシア国籍、ミャンマー国籍)、3月13日に1人(ミャンマー国籍)を採用した。

<ホームページ更新>

更新月日	更新内容
6月26日	慈久園、やまさん、ホープのお知らせ記事の更新
6月27日	広報誌「やまさん通信」令和5年6月号の更新
8月1日	ホープの住所情報修正
10月1日	広報誌「こすもす」令和5年号の更新
12月24日	慈久園、やまさん、ホープのお知らせ記事の更新
2月23日	広報誌「やまさん通信」令和6年2月号の更新
3月28日	慈久園、やまさん、ホープのお知らせ記事の更新 やまさん評価表一覧を公開

<週 40 時間勤務の常勤職員状況の推移>

(人)

職員区分	R2年4月	R3年4月	R4年4月	R5年4月	R6年4月	比較①	比較②	
慈久園	正規基本職員	42	37	33	32.3	29.75	-2.55	-12.25
	正規限定職員	1	4	8	6.8	6	-0.8	5
	定年再雇用職員	2	1	1.5	1.2	1	-0.2	-1
	準職員	5	7	7	7	6	-1	1
	特定技能	0	0	0	0	4	4	4
	計	50	49	49.5	47.3	46.75	-0.55	-3.25
やまさん	正規基本職員	18	17	13	12.2	10.25	-1.95	-7.75
	正規限定職員	0	0	1	2.2	2	-0.2	2
	定年再雇用職員	1	1	4	2	3	1	2
	準職員	0	1	0	0	1	1	1
	特定技能	0	0	0	0	0	0	0
	計	19	19	18	16.4	16.25	-0.15	-2.75
ホープ	正規基本職員	3	3	4	3.5	3	-0.5	0
	正規限定職員	0	0	0	0	0	0	0
	定年再雇用職員	0	0	0.5	0	0	0	0
	準職員	0	0	0	0	0	0	0
	特定技能	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	3	4.5	3.5	3	-0.5	0
ブレス	正規基本職員	1	1	1	1	1	0	0
	正規限定職員	0	0	0	0	0	0	0
	定年再雇用職員	0	0	0	0.8	0	-0.8	0
	準職員	0	0	0	0	0	0	0
	特定技能	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	1	1.8	1	-0.8	0
法人全体	正規基本職員	64	58	51	49	44	-5	-20
	正規限定職員	1	4	9	9	8	-1	7
	定年再雇用職員	3	2	6	4	4	0	1
	準職員	5	8	7	7	7	0	2
	特定技能	0	0	0	0	4	4	4
	合計	73	72	73	69	67	-2	-6

比較①→令和6年4月と令和5年4月を比較した職員数の増減です。

比較②→令和6年4月と令和2年4月を比較した職員数の増減です。

<職員状況> ※各月1日現在の職員数、( )内は常勤換算数 (人)

職員区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
慈久園	正規基本職員	32.3	32.3	31.3	29.4	30.4	28.9	28.9	29.9	30.9	31.15	31.15	32.15
	正規限定職員	6.8	6.8	6.8	7.8	7.8	7.8	6.8	6.8	5.8	5.8	5.8	4.8
	定年再雇用職員	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4
	準職員	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	特定技能	0	0	0	0	1	3	3	3	3	3	3	3
	パート職員	10 (5.9)	9 (5.6)	10 (6.0)	11 (6.7)	11 (6.7)	11 (6.7)	11 (6.7)	11 (6.7)	11 (6.7)	11 (6.7)	13 (7.0)	13 (7.0)
	専門パート	17 (2.7)	17 (2.7)	17 (2.7)	16 (2.6)	18 (2.8)	18 (2.8)	16 (2.6)	16 (2.6)	16 (2.6)	16 (2.6)	15 (2.5)	13 (2.3)
	計	74.3 (55.9)	72.3 (54.6)	72.3 (54.0)	71.4 (53.7)	75.4 (55.9)	76.2 (56.7)	73.2 (55.5)	74.2 (56.5)	74.1 (56.4)	74.35 (56.6)	75.35 (56.9)	73.35 (56.7)
やまさん	正規基本職員	12.2	10.2	10.2	10.1	10.1	10.6	11.6	11.6	11.6	11.35	11.35	10.35
	正規限定職員	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
	定年再雇用職員	2	2	2.2	2.2	2.2	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
	準職員	0	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
	パート職員	14 (7.3)	14 (7.3)	14 (7.3)	15 (7.4)	14 (7.0)	14 (7.0)	14 (7.0)	14 (7.0)	14 (7.1)	14 (7.3)	15 (8.0)	15 (8.2)
	専門パート	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)
	計	31.4 (23.8)	31.4 (23.8)	31.6 (24.0)	32.5 (24.0)	31.5 (23.6)	32.3 (24.4)	33.3 (25.4)	32.3 (24.4)	32.4 (24.6)	32.15 (24.6)	33.15 (25.2)	32.15 (24.5)
ホープ	正規基本職員	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	正規限定職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	定年再雇用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	準職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	パート職員	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)
	専門パート	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)
	計	5.5 (4.4)	5.5 (4.4)	5.5 (4.4)	5.5 (4.4)	5.5 (4.4)	5.5 (4.4)	5.5 (4.4)	5.5 (4.4)	5.5 (4.4)	5.5 (4.4)	5.5 (4.4)	5.5 (4.4)
ブレス	正規基本職員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	正規限定職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	定年再雇用職員	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0	0	0	0	0	0	
	準職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	パート職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	1.8 (1.8)	1.8 (1.8)	1.6 (1.6)	1.6 (1.6)	1.6 (1.6)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)



法人全体	正規基本職員	49	47	46	44	45	44	45	46	47	47	47	47
	正規限定職員	9	9	9	10	10	10	9	9	8	8	8	7
	定年再雇用職員	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	準職員	7	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7
	特定技能	0	0	0	0	1	3	3	3	3	3	3	3
	パート職員	25 (13.6)	24 (13.3)	25 (13.7)	27 (14.6)	26 (14.2)	26 (14.1)	26 (14.1)	26 (14.1)	26 (14.1)	26 (14.4)	29 (15.4)	29 (15.6)
	専門パート	19 (3.3)	19 (3.3)	19 (3.3)	18 (3.2)	20 (3.4)	20 (3.4)	18 (3.2)	18 (3.2)	18 (3.2)	18 (3.2)	17 (3.1)	15 (2.9)
	計	113 (85.9)	111 (84.6)	111 (84.0)	111 (83.8)	114 (85.6)	115 (86.5)	113 (86.3)	113 (86.3)	113 (86.3)	113 (86.6)	115 (87.5)	112 (86.5)

### 【総務課 支援調整係】

#### 1 生活支援の充実

##### (1) 入所利用者に対する生活支援の充実

##### <不在者投票実施状況>

投票月日	選挙内容	投票者
4月5日	県議会議員一般選挙(福岡県、熊本県)	18人
	市議会議員一般選挙(福岡市)	1人
4月20日	市議会議員一般選挙(久留米市、大牟田市、筑後市、大川市、荒尾市)	17人
	八女郡広川町長選挙	2人
7月18日	市議会議員一般選挙(みやま市)	30人
12月6日	町議会議員一般選挙(広川町)(無投票)	2人
3月19日	熊本県知事選挙	3人

##### (2) 短期入所利用者に対する生活支援の充実

##### <短期入所利用実績> 契約者数 35人、平均利用者数 2.3人/日、稼働率 77.5%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用日数(日)	54	72	78	64	74	94	84	79	81	63	63	45	851
利用者数(人)	20	22	23	21	27	30	27	25	28	21	27	18	289

※8月は台風接近により3人と9月に2人、1月に1人の家族事情による緊急短期入所を受入れた。1~3月は、個人の体調不良や施設内の感染予防対策により中止が多かった。

##### <短期入所利用者の障害支援区分別状況> 平均障害支援区分 4.55(障害者) (人)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
障害者	0	5	4	7	2	15	33
障害児	0	0	2	-	-	-	2
計	0	5	6	7	2	15	35

※障害者の区分2、区分3、区分4の方は、宿泊体験等の目的で月1回(1泊2日)程度の利用を継続されている。

### (3)生活介護(通所)の開始

#### <生活介護(通所)利用実績>

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1週間の開所状況	(1日)	(2日)	(2日)	(2日)	(3日)	(4日)	
利用者数(人)	16	17	19	37	32	37	158

※10月より週1日から開始し、やまさん利用者や短期入所利用の方を中心に案内を行った。11月から週2回、2月から週3日、3月から週4日へ徐々に広げ、日中活動を工夫しながら他者との関わりを楽しんでもらうよう取り組んだ。

#### <生活介護(通所)利用者の障害支援区分別状況> 平均障害支援区分 5.85 (人)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	0	0	3	3
女性	0	0	0	0	1	3	4
計	0	0	0	0	1	6	7

## 2 業務効率化の推進

### (1)ICT 機器等を活用した業務の推進

#### <実施状況>

実施月	実施場所	実施内容
4月	ブレス	ノートパソコン1台増設
〃	慈久園	ノートパソコン11台更新(性能向上)
5月	慈久園	眠りSCAN30台導入(見守り支援強化)
7月	ホープ	通信設備再構築(事務所移転)
8月	慈久園	ノートパソコン7台更新(性能向上)
2月	慈久園	事務所デスクトップPC更新(性能向上)
2月	やまさん	ノートPCのSSD化(性能向上)

### (2)新たな機器導入に向けた検討と実施

#### <実施状況>

実施月	実施場所	実施内容
4月	慈久園	「LINEWORKS」運用開始(職員間の情報共有)
7月	慈久園	ナースコール設備、電話設備の更新検討開始
8月	慈久園	インカムデモ機試用(業務効率化)
11月	やまさん	「LINEWORKS」運用開始(職員間の情報共有)

### 【防災・防犯・感染症対策等推進会議】

#### 1 事業継続計画の作成、見直し

- ・4月の全館停電による緊急時対応と6月の水害避難訓練を踏まえ、「防災計画」や「避難確保計画」の見直しと「水害等の災害時における事業継続計画」の検討を行った。
- ・11月7日に「避難確保計画」の変更分をみやま市防災対策室へ提出、11月9日に「防災計画」の変更分をみやま市消防本部へ提出した。
- ・3月に「新型コロナウイルス感染症等の発生における事業継続計画」の見直しと、「水害等の災害時における事業継続計画」を作成した。

【生活支援課】

<在園者数>

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数	58	57	57	58	59	56	56	56	56	54	55	55
在園者数	57	54	54	55	55	56	55	56	55	54	55	55
入退所	入0 退1	入0 退0	入0 退0	入1 退0	入1 退4	入1 退0	入1 退1	入0 退0	入0 退2	入1 退0	入0 退0	入0 退0

※毎月1日の在園者数で表記、3月は31日現在で在園者数を表記

<年齢別状況>

平均年齢63.7歳

(人)

	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計
男性	0	3	0	5	10	5	2	25
女性	0	0	2	6	13	6	3	30
計	0	3	2	11	23	11	5	55

<障害支援区分別状況>

平均障害支援区分5.8

(人)

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	1	3	21	25
女性	0	1	5	24	30
計	0	2	8	45	55

※3月6日より緊急措置入所1名受入れ

<全体行事、日中活動>

	計画係	介護係	健康係
4月	三大栄養素10人 嚥下体操50人 畑作り15人 スイカ苗植え8人	日帰り旅行53人 (3月まで随時実施)	みんなで口腔体操20人 タクティールケア29人
5月	開園記念行事		
	サンドイッチ作り40人 アイート昼食会6人		健康相談(痛み、痒み)1人 タクティールケア31人
6月	マイリンピック、健康祈願祭		
	野菜の栄養と種類35人 脳トレ30人、26人		健康相談(痒み)1人 タクティールケア28人
7月	盆供養		
	脳トレ34人 スイカ割り37人 野菜ホットケーキ作り40人	七夕飾り41人	タクティールケア26人
8月	かき氷会40人	外注会食14人 九電移動実演会45人	タクティールケア27人
9月	脳トレ31人、プール5人		タクティールケア27人

10月	ひまわり祭		
	大根種まき 12人	お楽しみ会 44人 たこ焼きパーティ 15人 ハロウィン 44人	タクティールケア 31人
11月	焼き芋会 50人 脳トレ 35人	カラオケ 20人 お好み焼きパーティ 15人	タクティールケア 29人
12月	忘年会 50人 脳トレ 20人 大根収穫 31人	ゲーム遊び 12人 映写会 50人 クリスマス会 53人	タクティールケア 26人
1月	新年のつどい		
	脳トレ 32人	絵馬作り 53人 茶話会 9人 ボーリング大会 15人 ピザパーティ 6人	間違い探し 20人 タクティールケア 31人
2月	脳トレ 30人、14人	豆まき 45人 カラオケ 11人 ピアノ演奏会 15人	手浴、足浴 3人
3月	カップケーキ会 50人	動物ふれあい 4人 茶話会 22人	タクティールケア 28人

・生活支援課で協力し、各係の特性を活かした活動に取り組み、季節を感じてもらう活動やモノづくりを楽しむ活動、身体、頭を使う活動などを企画した。3年ぶりの日帰り旅行では、利用者の意見を参考に行き先を決定した。

### 【計画係】

#### <入所者状況>

・入所定員に満たない状況が続き4～6月相談支援事業所、近隣病院の地域連携室へ電話連絡や訪問等を行い、利用者獲得に努めた。7～9月に3人の入所案内を行うが、8月に4人退所された。10月に1人入所、12月に2人退所、1月に1人入所により、3月末時点で在籍者56人(緊急措置入所含む)となる。

また、将来的な入所移行を考え、短期入所の新規利用者の契約や10月より短期利用をされている「やまさん」利用者を主に通所生活介護を開始した。

#### 1 個別支援の充実とケアの質の向上

<ケース会議> 対象利用者 23人(R6.3) (回)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
食事	0	0	0	4	11	3	1	19
退院	0	1	0	1	3	2	0	7
身体拘束	0	0	0	0	1	1	0	2
日常支援	0	0	0	1	2	2	2	7
計	0	1	0	6	17	8	3	35

・利用者の楽しみであり、体調管理においても欠かせない食事(栄養面)についての課題が多かった。退院時の状態に応じた食事の提供、その後の経過観察や嚥下、咀嚼状態に課題があるケースでは多職種で食事形態、姿勢など検討し対応を行い、食事量の

アップや栄養状態の改善に努めた。

- ・骨折を繰り返す利用者さんに対して、加療後の園での過ごし方についてご家族とともに協議する場を設け、本人、ご家族の意向に沿い安全に生活が継続できるよう支援内容の見直しを図った。

- ・年 1 回実施している「利用者アンケート」では意思疎通が困難な利用者さんには 2 人体制で思いのくみ取りを行った。ゆっくりと時間をかけて聞き取ることで普段あまり思いを話されない方も意見を述べたり、しっかり反応を示されたり、対話時間の重要性を感じた。各意見を大切に課題として職員間で周知し、令和 6 年度支援の向上に取り組んで行く。

- ・今年度は「利用者を知る」ということから「〇〇さんってどんな人」と題し、担当職員より利用者一人ひとりについて人柄などを記載し職員間で共有した。利用者一人ひとりに対する理解を深め、よりよい関係性、支援へ繋がるよう、今後も定期的に行い、情報を増やしていく。

## 2 食事支援

<食事形態>

(人)

	普通	軟飯	全粥	ソフト	計
主食	12	10	27	3	52

(人)

	普通	中間刻み	マッシュ	ソフト	計
副食	15	0	29	8	52

- ・言語聴覚士評価や多職種とのケース会議を行い、嚥下状態や食事姿勢を確認し統一した支援を行った。

<栄養評価>

- ・血液検査、体重増減をもとに栄養補助食品の検討実施、ケース会議にて補助食品の摂取の必要性や個々の状態に応じて摂取する時間を話しあい健康管理に努めた。

<委託業者との連携>

- ・委託業者栄養士と作業内容、発注等の確認を行い、10 月より開始した生活介護(通所)利用の食数、食形態について丁寧な確認を要した。

- ・3 月に委託業者スタッフのノロウイルス罹患が確認されたが、備蓄食の提供に切り替え大事には至らなかった。今後ノロウイルス対策を再度見直し速やかに対応できるようマニュアルを整備していく。

## 3 リハビリテーションの充実

<PT リハビリテーション実施状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数(回)	16	19	13	15	16	14	15	16	15	15	15	13	182
延べ人数(人)	151	173	122	140	133	120	121	156	128	118	132	86	1580

＜個別リハビリテーションプログラム＞ (人)

プログラム内容		人数	プログラム内容	人数	
リラクセーション		49	ADL 練習	歩行	15
関節可動域運動		48		立ち上がり・立位保持	15
筋力維持増強運動		36		座位保持	10
姿勢保持	腹臥位	3		移乗動作	8
	座位	10		移動動作	4
	膝立ち位	2		起居動作	7
	四つ這い位	3		摂食動作	1
	下腿下垂位	2		除圧動作	1
呼吸リハビリテーション		4	温熱療法	6	
ベッドギャッジ挙上		1	感覚刺激	2	
計				218	

【介護係】

1 利用者一人ひとりの生活を支える

＜外出状況＞

外出内容	実施回数	参加延数	外出内容
日帰り旅行	20回	53人	マリンワールド(福岡市)、野球観戦(筑後市)、福岡タワー、大牟田イオン(大牟田市) 外注食(寿司、うなぎ)
ゾーン合同外出	14回	50人	野球観戦(福岡市)、ショッピング(みやま市) 図書館祭り、みやま市民祭り、九州芸文館、 スターバックスコーヒー、コンビニ外出
計	34回	103人	

＜サークル活動・ボランティア活動等＞

実施状況	書道	朗読	健康体操	英会話	勉強会	さをり織り、PC	計
実施回数(回)	11	10	11	19	16	21	88
参加人数(人)	72	119	274	418	35	112	1030

2 ケアの質を意識した介護の提供

＜情報共有とチーム力の向上＞

- ・毎日申し送りをを行い、利用者さんの体調確認や支援方法の見直しを行った。必要に応じ、事故の原因と対応策を話し合った。
- ・サビ管、看護職員、栄養士、管理栄養士、理学療法士が申し送りに参加し、アドバイスを参考に支援方法を検討した。
- ・限られた時間に協議することが難しく、シフト業務のため周知に工夫が必要だった。

＜見守りシステム導入＞

- ・眠り SCAN 45 台導入(中央介護士室パソコン管理し常時確認できるよう設定)夜間帯は各ゾーンスマホ管理し、個々に応じた呼吸数、心拍数の異常値を設定しアラーム時は体調に変化がないか確認した。また、夜勤覚醒時に排泄介助を行い睡眠時間の確保

に努めた。夜間覚醒時は本人の意向に沿ってトイレ案内を行うことができた。

・てんかん発作の既往がある短期入所利用者について、同意のもと使用し安心して利用につなげることができた。

#### <福祉機器技術チェック>

・福祉機器の操作マニュアルを見直し、職員個々の評価を実施し、全支援員がマスターし安全に活用できるよう努めた。

・新規職員には、機器の体験を行い、介助を受ける立場を理解した上で安全に活用できるように指導した。

#### <グローバルスタッフの育成>

・ウェルカムチームを結成し、アンケートの説明やラジオ体操、生活面でのアドバイスなど積極的にかかわりを持ち働きやすい環境を作った。

・間接業務(掃除、食事前後の準備、洗濯物片付けなど)を1か月ほど実施し、利用者、職員の名前を概ね理解したうえで直接業務を進めた。

・3か月程度夜勤の練習を重ね、来年度は夜勤業務が担えるよう育成を進めた。

#### <夜勤専門介護職員の状況>

・法人応援、専従夜勤の5人が夜勤に従事した。新たに4人が夜勤専門として練習夜勤に入るが体調や家庭環境、本業の勤務の都合がつかず退職に至るケースが多かった。3月時点で対象職員1人の状況である。

#### <外部講師研修>

研修月日	内容	講師	参加者
9月2日	褥瘡の予防と対策	国立病院機構 九州医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師 近藤 三亀代 様	34人 (伝達研修含む)
12月13日	障害特性の理解と合理的配慮	Gocochi-Nest 松尾 博子 様	53人 (伝達研修含む) (法人職員含む)

#### <新任研修>

研修月	内容	参加者	担当課
4月	各種規程について等	1人	総務課
5月	あいさつ、コミュニケーションについて	4人	生活支援課
6月	やまさん研修へ参加(人となりを知る)	4人	総務課
8月	身体拘束について	4人	生活支援課
9月	福祉機器の取り扱いについて	3人	生活支援課
10月	排泄交換研修	3人	生活支援課
12月	障害特性と日常支援、個別支援計画について	6人	生活支援課
2月	体位交換、特殊浴槽の取り扱いについて	5人	生活支援課
3月	意見交換	6人	生活支援課

<事故報告>

受傷日	事故の種類	場面
5月13日	鼻腔裂傷	トイレ介助中
5月15日	右大腿骨転子部骨折	不明
7月21日	誤薬	投薬忘れ(夕食後薬)
8月3日	誤薬	投薬漏れ(夕食後薬)
8月5日	右手第3指亀裂	トイレ利用中
8月18日	第12胸椎圧迫骨折	移動時転倒
10月3日	右大腿骨転子部骨折	リハビリ時
11月15日	誤薬	投薬間違い(夕食後薬)
1月6日	右上腕骨近位端骨折	衣類着脱時
2月9日	左橈尺骨遠位端骨折	畳上での体位変換時

【健康係】

1 健康維持および増進

- ・バイタル、排便、排尿状態など特変時は医師へ指示を仰ぎ適切な処置を行った。
- ・各ゾーンの申し送りに参加し体調不良や低栄養などの状態時には他職種と連携し課題解決に取り組んだ
- ・日頃よりスタンダードプリコーションに基づき感染予防に努めた。また発熱や体調不良者に感染の疑いがある場合は速やかに感染対策を行った。

<受診、受薬状況>

(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定期受診	11	10	11	11	11	12	13	11	13	15	11	17	146
定期受薬	3	4	3	4	4	3	3	3	4	4	3	3	41
臨時受診	4	11	13	8	17	18	5	4	9	4	10	28	131

<入院状況>

病名	入院日数	病名	入院日数
精神障害	27日間	膀胱腫瘍	51日間
右肺誤嚥性肺炎	14日間	右肺肺炎	76日間
肺炎	16日間	上部消化管出血疑い	1日間
左腎盂腎炎	16日間	両下葉誤嚥性肺炎	7日間
貧血	13日間	腎盂腎炎・敗血症	31日間
右大腿骨転子部骨折	19日間	左腎盂腺癌	9日間
膀胱腫瘍	65日間	右大腿骨転子部骨折	24日間
逆流性食道炎	5日間	誤嚥性肺炎、敗血症	19日間
不整脈	10日間	肺炎	14日間
無気肺	2日間	肺炎	21日間
呼吸困難、疼痛コントロール	127日間	精査目的、不明熱	27日間
肺炎	7日間	胃ろうチューブサイズ交換	2日間
計			603日間



<健康診断の実施状況>

- ・健康診断(胸部レントゲン、血液検査)を6月27日に実施した。
- ・受診者51人/56人(入院3人、透析1人、体調不良1人)

検査項目	有所見者数	検査項目	有所見者数
胸部レントゲン	6人	貧血	3人
電解質	17人	脂質異常	11人
肝機能	3人	CEA(腫瘍マーカー)	14人
血糖	3人	計	57人

- ・あだち医院または専門医にて精査

検査内容	対象者数	検査内容	対象者数
血液検査	12人	便潜血	6人
胸部X-P	7人	尿検査	4人
胸部CT	3人	計	32人

※検査の結果処方変更、内服治療中6人

<ワクチン接種状況>

	接種	未接種	接種拒否	Dr ストップ	接種券なし	計
コロナ春季	41人	4人(入院)	3人	3人	5人(返信なし)	56人
コロナ秋季	39人	0人	4人	2人	7人(返信なし)	52人
インフルエンザ	48人	0人	1人	3人	0人	52人

<歯科受診状況> 訪問歯科受診の実施48回

受診内容	受診者	受診内容	受診者
歯石除去	107人	齲蝕予防薬塗布	2人
齲蝕治療	95人	義歯調整	5人
抜歯	4人	レントゲン撮影	9人
消炎・消毒	7人	その他	22人
ブラッシング	86人	計	337人

2 高齢化、重症化に伴う状態の変化に応じた必要な医療的ケアの支援体制

- ・2月に入り21人の利用者に発熱、呼吸苦を主症状とするウイルス性の感染症が発生した。そのうち3人の方に酸素療法が必要になった。
- ・感染症確認時は個室対応としていたが感染者の増加によりやむを得ず多床室での対応となった。マスク着用が望ましいがほとんどの方が着用できず感染予防の徹底ができなかった。
- ・入院加療後、酸素療法が必要な方の支援方法について、病院と連携しながら退院時のケース会議を実施し、安心して生活できる環境を整えた。
- ・終末を迎える利用者さんについて、主治医相談のもと本人の意向を確認し緩和ケア病棟への転院を検討し対応した。短い期間ではあったが、退所後も病院へ出向き精神的サポートに努めた。

地域生活応援センター やまさん

【生活介護】

<年齢別状況>

平均年齢 41.6 歳 (人)

	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計
男性	4	3	4	4	3	18
女性	5	2	5	1	3	16
計	9	5	9	5	6	34

<障害支援区分>

平均障害支援区分 5.3 (人)

	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男性	1	0	4	1	12	18
女性	0	0	2	4	10	16
計	1	0	6	5	22	34

<契約者市町村別>

	みやま市	大牟田市	柳川市	筑後市	八女市	熊本県	計
男性	4	5	5	1	1	2	18
女性	2	9	4	1	0	0	16
計	6	14	9	2	1	2	34

<利用状況>

(人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数(日)	24	25	24	24	25	24	24	24	24	23	23	24	288
予約数	347	367	342	390	410	417	424	402	403	391	377	393	4663
利用者数	334	341	321	310	368	382	393	367	384	343	347	368	4258
新規契約者	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
契約解除者	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4
医ケア利用者数	65	70	65	80	94	85	83	93	83	74	68	70	930
1日あたり医ケア数	2.7	2.8	2.7	2.8	3.7	3.5	3.4	3.8	3.4	3.2	2.9	2.9	3.3
平均利用者数	13.9	13.6	13.3	12.9	14.7	15.9	16.4	15.2	16.0	14.9	15.1	15.3	14.7

<実習受入状況>

(人)

学校名	人数	学年	実習期間
荒尾支援学校	1	高 3	1 日間(6 月 20 日)
大牟田特別支援学校	1	高 1	4 日間(6 月 12、13、15、16 日)
大牟田特別支援学校	1	高 3	3 日間(11 月 6、7、8 日) *入院のため
柳河特別支援学校	1	高 1	2 日間(1 月 25、26 日)

<生活介護利用者 ADL 状況>

	食事	排泄	入浴	移乗	移動
自力	11	6	0	5	13
半介助(一部含む)	9	9	4	11	6

全介助	10	19	25	18	15
計	30	34	29	34	34

※食事(給食)なし4人、入浴なし5人

## 1 適切なケアと個別支援の充実

- ・本人もしくはご家族から排泄用品等の充て方の申し出に対して、速やかに対応できるように朝礼時や係会議の中で伝達を行い周知したが、日を迫うごとに意識が薄れる傾向にあり、繰り返し説明が必要であった。
- ・12月にトイレの天井走行リフトが設置された。現在、5の方が使用されており、利用者、職員の双方の負担軽減に繋がった。

## 2 日中活動への取り組み

- ・4月、5月、10月には、季節の外出やレクリエーション活動としてボーリング大会を楽しまれた。意見交換会の意見を参考に、クッキング活動を実施し、準備段階から関わって頂き分担しながら実施した。また、活動内容にバリエーションを増やすため、10月から木工作業を開始し「携帯ホルダー」の作品作りにも取り組んだ。
- ・1月から医療的ケアの方の日中活動の充実を図るため、活動内容を記載したボードを準備し取り組んだが、日常業務が中心となり課題が残った。
- ・2月から活動時間の確保と充実を図るため、各利用者、家族に協力をしていただき朝の迎え時間を見直した。センターへの到着時間が早くなったことで、入浴も早めに開始することができた。

### <日中活動の実施状況>

(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
学習会等	4	1	4	2	11	10	5	5	1	3	4	5	55
創作活動等	5	8	6	10	11	6	7	6	8	3	6	4	80
カラオケ等	4	7	9	8	17	25	15	20	14	19	15	13	166
クッキング	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	7
外出	6	4	1	1	1	0	5	0	1	3	2	1	25
エプロン作業	23	25	24	24	25	24	24	24	24	23	25	24	289

### <リハビリテーションの実施状況>

(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
筋力維持増強運動	26	27	26	26	28	28	28	29	29	29	28	28	332
ROM運動	26	27	26	26	28	28	28	29	29	29	28	28	332
ADL練習	26	27	26	26	28	28	28	29	29	29	28	28	332
呼吸練習	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33
認知機能活動	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
心身機能活動	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	54

【子ども支援係】

＜年齢別状況＞（放課後等デイサービス）（人）

	6～12歳	13～15歳	16～17歳	18歳以上	計
男性	7	2	2	0	11
女性	1	7	3	2	13
計	8	9	4	3	24

＜契約者市町村別＞（放課後等デイサービス）（人）

	みやま市	大牟田市	柳川市	筑後市	八女市	熊本県	計
男性	5	3	3	0	0	0	11
女性	0	10	1	1	0	1	13
計	5	13	4	1	0	1	24

＜利用状況＞（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数(日)	25	27	26	27	27	26	26	26	26	24	25	26	311
予約数	283	298	296	305	312	302	310	308	314	298	295	315	3603
利用者数	245	268	259	242	263	253	273	249	278	244	269	280	3123
新規契約者	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3
契約解除者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	5
医ケア利用者数	82	105	89	77	90	113	107	92	99	97	110	108	1169
1日あたり医ケア数	3.2	3.8	3.4	2.8	3.3	4.3	4.1	3.5	3.8	4.0	4.4	4.1	3.7
平均利用者数	9.8	9.9	9.9	8.9	9.7	9.7	10.6	9.6	10.6	10.2	10.7	10.9	10.0

＜医療的ケア児の受入状況＞（人）

	大牟田特別支援学校	柳河特別支援学校	荒尾支援学校	計
区分1	1	1	0	2
区分2	3	1	1	5
区分3	1	1	0	2
計	5	3	1	9

※児童発達支援(医療的ケア児)区分3

＜学校休校等に伴う対応＞

対応状況	期間	人数
大雨による臨時休校	6月30日	7人
台風による臨時休校	8月9日	6人
インフルエンザによる臨時休校	11月10、14日	2人
雪による臨時休校	1月24日	3人

1 個別療育活動・集団療育活動の推進

・児童発達支援管理責任者と児童指導員が中心となり、他職員の意見を参考に活動を実施した。特に音楽活動やクッキングは好評で、楽しい雰囲気の中で実施できたが、年齢層も幅広く、主に低学年の内容となっていることやコロナの影響もあり、外出す

る機会が少なかった。1月にご家族の意見を参考に「活動に関するアンケート調査」を実施し、次年度に繋げていく。

・外部講師の協力のもと、学習支援や支援に関する助言を頂き、係内で取り組みについて見直した。また、医療的ケア児の活動を工夫するため、7月からタクティールケアの開始や季節に応じた飾り付けを行うことで雰囲気作りを大切にしたい。一方で平日については、医療的な処置(注入等)を優先するため、活動時間の確保が困難な状況であった。

<個別療育活動> (児童発達支援・放課後等デイサービス) (回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
言葉練習等	2	3	4	2	0	3	3	3	2	-	-	-	22
制作活動	8	4	3	7	27	8	0	0	0	0	0	0	57
学習支援	0	0	6	5	4	12	12	12	11	11	9	11	93
英会話	0	3	3	1	0	2	4	4	5	2	2	-	26

<集団療育活動> ( )内、回数

	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
活動内容	身体運動(31)	脳トレ(9)	ふれあいタイム(35)	外出(16)
	レクリエーション(6)	学びクラブ(6)	のど自慢(3)	クッキング(14)
	音楽・制作活動(96)		英語で遊ぼう(10)	シアター(10)
	スムーズレン(53)		読み聞かせ(41)	
	感覚刺激運動(31)			
計	217回	15回	89回	40回

<タクティールケア実施状況> (回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生活介護	-	-	10	-	9	11	10	12	10	12	14	13	101
放課後等デイ	-	-	-	-	7	8	6	4	-	9	10	9	53

2 家族支援への取り組み

・8月から、毎週土曜日に重度の障害児を対象に入浴支援を開始し、4人の方が利用されている。開始にあたっては、事前にご家族立ち合いのもと、注意点等を確認し安全に入浴した。

・ご家族の事情を考慮し、1人の児童を対象に9月に1回、10月に2回、11月に3回、12月に2回の計8回の大牟田特別支援学校への通学支援を実施した。

<感染状況>

	生活介護	放課後等デイ
感染者(インフルエンザ含む)	9	6
感染の疑い	1	2
計	10	8

・7月17～28日にかけて、職員、利用者ともに最大12人が陽性者となった。

・11月には、インフルエンザ罹患者が、利用者2人 職員4人であった。

・コロナ感染については、自宅療養期間終了後、再開時に抗原検査実施後、利用可とした。また、新型コロナウイルス感染の疑いのある利用者には、利用時に抗原検査の協力をお願いし対応した。

<給食提供状況>

食事形態	普通食	刻み食 (刻みトロミ含)	ミキサー食	胃瘻等 (昼食持参含)	計
生活介護	14	13	3	4	34
放課後等デイサービス	13	2	2	6	23

【職員の資質向上】

1 新たな体制での事業所作り

○人となり研修

ご本人2人、生活介護利用者家族2人、放課後等デイサービス利用者家族2人

○外部研修

研修月日	講師	研修内容	参加者
8月16日	柳川療育センター 重心認定看護師 横川寿子様 看護師長 大津友里江様	誤嚥性肺炎を予防する 口腔ケア	19人
8月16日	サニクリーン九州 中山貴治様	AEDの取り扱いと実 践研修	19人
1月17日	リブドゥコーポレーション 中山実好様	紙おむつの選び方 使い方	22人
2月21日	ヒューマン&ヒューマン 認定心理師 河原和代様	カウンセリングとは	18人

○他事業所見学研修(9月11日、10月18日、11月15日)

生活介護；風の丘(小郡市)13人、たまきな荘(熊本県玉名市)13人

放課後等デイサービス；キッズハウスにじ(柳川市)2人

○現場実習(1月25日～28日)

児童発達支援；りんどう学園(大牟田市)1人

・利用者を知り理解を深めるため、ご本人、ご家族の協力のもと「人となり研修」を実施し、生い立ちや思い等を共有することで、自分自身を振り返る貴重な時間となった。

・毎月の全体会議では、事業所内で共有すべき内容の確認や福祉機器、福祉用具についての適切な使い方を繰り返し説明し実践研修の時間を作った。

・9月に放課後等デイサービス、10月、11月に生活介護事業所見学を行い、送迎時間や記録用紙の様式等を参考に見直した。

・9月に「医療情報提供書」を整備し、緊急時の対応として、消防隊への情報提供を行った。

## 相談支援センターホープ

### (1) 基本相談の概況

#### ① 障害別

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能	その他	計
障害者	28	0	29	75	6	1	19	158
障害児	2	0	3	4	3	0	0	12
計	30	0	32	79	9	1	19	170

実人数：障害者 153 人、障害児 11 人

#### ② 支援方法別件数

支援方法	件数
訪問	401
来所相談	107
同行	64
電話相談	1641
電子メール	45
個別支援会議	11
関係機関	559
その他	28
計	2856

#### ③ 支援内容別件数

支援内容	件数
福祉サービス	903
障害や病状の理解	201
健康・医療	180
不安の解消・情緒安定	440
保育・教育	3
家族関係・人間関係	249
家計・経済	90
生活技術	280
就労	316
社会参加・余暇活動	171
権利擁護	18
その他	6
計	2857

・家族から困りごとの相談を受けるが本人は困っていないようで支援にはつながりづらい。行政、医療機関、障害福祉サービス等の関係機関と情報共有し連携しているが家族の困りごとがすぐ解決に向かうことは少なく継続支援となる。

・本人から心身の不安感が強く落ち着かない、障がいや病状に苦しさを感じて気持ちの落ち込みや死にたい気持ちになる等の悲痛な思いを伝えられることがあり、電話や訪問にて傾聴。一方で世間話をする人がいないため誰かと話をしたいと電話をかけられる方もおられ、唯一のコミュニケーションとなっている。

・精神科病院に入院されている方の退院後の生活に向けた会議に出席し、退院後の生活の場を検討。自宅よりは支援があるグループホームを選択される。

・医療機関、障がい福祉サービス、家族から虐待を受けている可能性があるとのことで対応方針の協議に出席した。

(2) 計画相談の概況

① 障害別

実人数：障害者 195 人、障害児 15 人

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能	その他	計
障害者	65	0	69	66	14	0	0	214
障害児	0	1	9	3	2	0	0	15
計	65	1	78	69	16	0	0	229

※計画相談支援の契約を取り交わし、障害福祉サービスを利用中の方について計上

② 支援方法別件数

支援方法	件数
訪問	1274
来所相談	215
同行	73
電話相談	1380
電子メール	220
個別支援会議	78
関係機関	2097
その他	8
計	5345

③ 相談内容別件数

支援内容	件数
福祉サービス	4105
障害や病状の理解	64
健康・医療	462
不安の解消・情緒安定	101
保育・教育	15
家族関係・人間関係	70
家計・経済	103
生活技術	145
就労	65
社会参加・余暇活動	211
権利擁護	7
その他	0
計	5348

- ・グループホームでの生活を検討する人や就労継続支援A型事業所を希望する人が他のサービスに比べて多かった。近隣市は新設のグループホーム開所が増えており、企業が運営主体になっているところも多いように感じる。
- ・入所施設やグループホームの生活だったが、加齢に伴い認知機能低下や介助面が多く生活の維持が厳しくなり介護保険への移行や転園になる人がおられた。しかし、障がい福祉サービスから介護保険への移行に難しさを感じた。
- ・高齢の親と本人のふたり暮らしだったが、親が急死し、本人ひとりの生活は難しく緊急の受入れ先を検討した。このような家庭は緊急時支援事前登録書への記入をすすめていく必要性を感じた。
- ・居宅介護事業所の人員不足等の理由で事業所変更や新規の受入れに難しさがあり、支給決定を受けているが利用回数や時間に制限があった。
- ・計画相談支援事業所を変わりたいと相談を受け、ホープや他事業所で対応した

《自立支援協議会》

開催数	月日	内容
第1回	8月17日	・会長選出、みやま市障がい者自立支援協議会について
第2回	2月28日	・相談支援事業について報告 ・地域生活支援拠点について報告 ・医療的ケアに係るアンケート調査について



《自立支援協議会 相談支援部会》

出席者：みやま市福祉課、南筑後保健福祉環境事務所、市内相談支援事業所

月日	内容
4月18日	・計画相談支援に関する書類について協議 ・令和5年度 相談支援部会年間計画
5月16日	・ケース検討
6月22日	・みやま市生涯学習まちづくり出前講座 ・みやま市役所防災対策室より講義
7月18日	・ケース検討
8月21日	・福岡県南筑後保健環境事務所に研修依頼 テーマ：「自殺対策について」「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて」 講師：精神保健係保健師 太田佳甫様、坂本亜希様
9月29日	・子ども家庭支援センターあまぎやまへ研修依頼 テーマ：「愛着について」基本的な愛着の理解、実際の援助における留意点 【講師】福岡女学院大学 人間科学部 教授 大迫秀樹 様
10月17日	・基幹相談支援センターホープに研修依頼 テーマ：「成年後見制度」司法書士が担う後見業務をとおして消費者被害について考える 【講師】あおはね事務所 司法書士 山倉克也 様
11月21日	・ケース検討
12月19日	・ケース検討
1月26日	・ケース検討
2月20日	・ケース検討
3月19日	・ケース検討、令和6年度相談支援部会年間計画

《就労支援部会》

出席者：みやま市福祉課、大牟田公共職業安定所、障害者就業・生活支援センターほっとかん、市内就労移行支援事業所・就労継続支援A型事業所(サンビジネス、くすの木苑、ピート)、市内相談支援事業所

月日	内容
4月12日	・令和5年度年間スケジュール
7月12日	・各事業所の課題の共有、就労についての課題の整理
10月11日	・障がい者支援や事業の運営に関してグループワークによる意見交換
1月10日	・前回の会議での意見を整理し、今後部会として取り組んでいくことをグループワークにより意見交換

《柳川市・みやま市「地域生活支援拠点等整備部会》

月日	内容
5月26日	・地域生活支援拠点等整備事業 ・これまでの経緯と課題 ・緊急時受入における事業所間の理解促進、専門的人材の確保・養成 ・地域体制づくり(意見交換)
9月26日	・これまでの経緯、今後のスケジュール及び内容、両市との連携

3月28日	・令和5年度事業報告 ・令和5年度緊急時受入対応(実績・報告)
-------	------------------------------------

《地域の相談支援体制の強化》

○相談支援従事者研修

- ・10/17「成年後見制度」司法書士が担う後見業務を通して消費者被害について考える  
NPO 法人福岡消費者支援機構 講師：あおはね事務所 司法書士 山倉克也様
- ・相談支援専門員初任者研修(9/8)では1人の受入を行った。

○地域の支援者とのネットワークづくり

地域を支えている民生委員・児童委員の方へ会議開催時に時間を頂き、障がいのある方の相談窓口やホープの役割について説明をした。

- ・6/21 民生委員・児童委員協議会民生部研修会
- ・9/15 高田町民生委員・児童委員
- ・10/5 民生委員・児童委員 高田・山川・瀬高地区の部長がホープ来訪
- ・11/13 山川町民生委員・児童委員
- ・12/12 瀬高町民生委員・児童委員

○県、南筑後保健福祉環境事務所等が開催する会議(精神障がい地域支援事業関係機関会議、ひきこもり支援者会議、自殺未遂者支援研修会、医療的ケア児等への支援に関する情報交換会等)に出席し、地域の実情把握、関係機関との連携強化を目指した。

《交流ひろばの活用》

- ・おしゃべり café は、月1回、14:00~16:00、お茶を飲みながらカラオケやおしゃべりを楽しんで頂いた。(人)

日付	4/14	5/15	6/15	7/14	9/19	11/23	12/22	1/16	2/27	3/20	計
参加者	2	1	1	1	2	3	3	4	3	3	23

- ・Let's Go ホープ(開放日)毎月25日前後で10:00~15:00、誰もが自由に過ごす場所を提供。10月、2月は傾聴ボランティアみみずくに協力依頼。参加者からは真剣に話を聞いてもらって良かったとの声が聞かれた。(人)

日付	4/25	5/25	6/26	7/25	9/26~29	10/25	1/26	2/23	計
参加者	1	0	1	2	1	7	4	6	22

《つながる会》

- ・誕生月にバースデイハガキを郵送、お礼の連絡を受けることがある。
- ・涼(すずむ)を6月9日に開催、3人参加された。ボッチャやオリジナルパフェづくり、談話を楽しまれた。
- ・暖(あたたまる)を11月3日に開催。今年で3回目となり、39人が参加された。今年度は1ヶ月早めの開催で、晴天に恵まれ汗ばむほどの気温だったが外のテントで長時間滞在される方が多く、会話が弾んでいた。参加できなかった人で気になる家庭やひとり暮らしの11人に、様子伺いをかねて焼き芋を持ち自宅訪問した。
- ・ホームページでイベントの案内や活動等の様子をお知らせした。

## 相談支援事業所ブレス

### 1 契約状況

#### (1) 契約者数

障害児:122人(新規26人、継続80人、終了12人、障害者へ移行予定4人)

障害者:2人(新規2人)

#### (2) 障害別

	身体	知的	発達	重心	精神	計
障害児	8	10	101	1	2	122
障害者	0	2	0	0	0	2
計	8	12	101	1	2	124

#### (3) 年齢別

	未満児	年少	年中	年長	計
未就学児	5	7	4	14	30

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
小学生	21	16	19	5	5	9	75

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	19歳	計
中学生以上	2	3	4	1	2	5	2	19

#### (4) 市町村別

みやま市	大牟田市	柳川市	筑後市	計
112	6	4	2	124

#### (5) 支援方法別

来所	電話	メール	訪問	同行	会議	関係機関	計
218	414	28	31	23	50	573	1,337

### 2 計画相談の拡充

①令和5年4月から、特定相談支援(者の相談支援)を開始し、児童から大人までの継続した支援に努めることとなった。

②コロナ対応の変更により、事務所がやまさんへ戻った。

③相談室の遊具等の環境整備はできなかった。

### 3 情報交換と家族の交流の推進

①契約時に、連絡手段の意向確認を行い、半数以上の方とメールやLINEでの連絡を行った。

②モニタリング時期以外での状況確認は、課題が出てきた児童を中心に行った。

③ホープと協働で「暖」を令和5年11月3日に開催し、8家族が参加した。

#### 4 ホームページ開設と学校及び事業所等の訪問

- ①令和5年8月1日、ホームページ開設。同年12月、近隣の事業所へアンケートを実施し、事業所情報をホームページに掲載した。
- ②毎月第3月曜日10時から、みやま市子育て課との連絡会を毎月1回のペースで開催し、困難ケースや意見交換を行った。
- ③幼稚園、保育園、学校、学童、事業所等へ利用者の状況に合わせて訪問を行った。
- ④みやま市結ぶ会(毎月第3土曜日)に4回参加(高田総合保健福祉センターあたご苑)

#### 5 1年間を振り返って

- ・対象児童の特徴として、各種手帳を所持している児童は少なく、発達障害と診断される児童が大半を占めている。その中でも、IQが比較的高い児童が多くなっている印象を受ける。しかし、集団(学校、学童、保育園など)の中では、トラブルが多くなる、落ち着きがない、上手くコミュニケーションが図れないなどから、放課後等デイサービスを希望される児童が多い。
- ・みやま市内には、児童発達支援事業所が2ヶ所、放課後等デイサービス事業所が3ヶ所と少しずつ増えている。近隣の市町村でも事業所は増えている状況。しかし、対象となる児童も同様に増えているため、事業所の空きは少なく、空き事業所を探すのが大変な状況である。
- ・放課後等デイサービスは利用できているが、不登校(不登校気味)の児童が増えつつある。学校ではないが、学校に近い環境の中で色んな体験をしながら、過ごせる居場所が必要と感じる。
- ・他害行為のある児童のサービス利用が難しい。近隣に、強度行動障害の児童に対応できる事業所がほぼないと思われる。そのため、日々、事業所を転々としているような状況がある。
- ・学校、保育園等に訪問や連絡をしても、相談支援事業所に対する認識が薄いように感じる。また、特に学校は、管理職が変わると対応も変わり、連携の場を持ちたいと相談しても、難しい状況となることがあった。

## 【各種委員会】

### 1 法人所管委員会

#### <衛生委員会>

- ・委員会を毎月(4/3、5/9、6/5、7/3、8/7、9/4、10/30、11/13、12/4、1/29、2/16、3/22)開催した。健康診断等の結果により、同日に産業医面談を19人実施した。
- ・7月に職員へ職場環境改善に向けた聞き取り調査を行い、職員86人からの回答を得て、意見に対する対応についての提案を行った。
- ・8月にストレスチェックを実施した。高ストレス者17人(前年度から5人増加)に対し、産業医面談及びカウンセリングの提案を行った。
- ・こころの栄養日として毎月カウンセリング機会を作り、35人(内、4人が希望者)が受けられている。希望者がいない場合は、カウンセリングを受けたことがない職員へ声かけし、9割以上の職員が「受けて良かった」と回答された。

#### <広報委員会>

- ・外部委員会を2回(9/18、2/15)、小委員会を3回(5/16、8/16、11/15)開催した。
- ・ホームページに行事や日中活動の様子などを掲載し、6月、10月、12月、2月、3月に情報更新を行った。(詳細については、総務課に記載)
- ・広報誌「こすもす」を10月1日に発行し、「やまさん通信」令和5年6月号、令和6年2月号を発行し、近隣の小中学校や特別支援学校、関係機関等へ配布した。
- ・令和4年度から法人パンフレットの更新検討を進め、令和6年3月に新パンフレットが完成し、4月から発行する予定である。

#### <虐待防止委員会>

- ・外部委員会1回(3/31)、内部委員会を慈久園3回(5/27、8/28、10/23)、やまさん3回(8/11、9/15、11/13)、相談支援室3回(6/13、7/14、3/14)実施した。
- ・10月に職員セルフチェック、11月に早期発見チェック実施した。職員セルフチェック、早期発見チェックにより具体的な意見から見えてきた課題について各事業所で話し合い対策を講じた。慈久園では、他者の良い行動、言動についての意見を共有し優しい対応を心がける取り組みを行った。やまさんでは、不適切ケアに関するアンケートについての対策および経過を確認した。
- ・12月13日に外部研修および委員による伝達研修を実施し多くの職員に利用者支援について考える機会を作ることができた。

#### <苦情解決委員会>

- ・苦情解決委員会1回(4/19)、相談の日を3回(7/19、10/18、1/17)開催した。第三者委員への相談者はなく、苦情受付ボックスの活用の周知に取り組んだ。
- ・利用者アンケートの意見内容から今年度は挨拶、食事メニューの伝達など具体的な項目を絞って職員全体で取り組み、意識できるようになってきた。
- ・意見交換会等では個人的な意見が聞かれないため、日常生活支援の中での利用者からの声を拾いあげ、4件の苦情、3件の意見への対応を図った。

#### <表彰委員会>

- ・5月に令和5年度永年勤続表彰式(表彰者13人)を行った。
- ・3月に外部委員会において、令和6年度永年勤続表彰の推薦者10人を決定した。

## 2 慈久園所管委員会

### <安全対策委員会>

- ・内部委員会 3回(5/10、9/11、1/27)実施した。
- ・6月に水害訓練を実施し、増築した2階多目的室、2階会議室、廊下、職員更衣室を活用し、全利用者を避難することが可能となった。
- ・9月に感染症訓練を実施し、昨年度の感染症対応を踏まえ2階多目的室への避難を実施した。2階へ隔離対応を行うことで職員配置の検討が適宜必要になるが、感染拡大防止を優先に今後も訓練を重ねていく。
- ・5月、12月に火災訓練を実施した。12月には火元から離れた園敷地(当日は玄関)に一時避難、西側駐車場への移動する2次避難を想定して訓練を実施した。
- ・3月は、能登半島地震の状況と派遣した職員から現地での様子の報告を受け、災害学習を行った。

### <入所調整委員会>

- ・待機者確保に向け、関係機関への情報収集、共有を上半期、重点的に行い、7月～入所案内を行った。新規入所検討のための、外部委員会(書面審議を含め5回)、小委員会7回開催した。入所前に可能な限りご本人、ご家族面談を行い、関係機関と情報収集、共有に努め、入所後も定期的に生活状況等の確認を行った。
- ・入所者の高齢化、基礎疾患等の重度化、体力面の低下などに伴い、入院の長期となり、園生活を継続するまでの回復力が低下している状況にある。待機者確保に向け、各関係機関との情報共有を今後も継続していく。

入所5名	7/1(柳川市)、8/1(久留米市)、9/8(筑後市)、10/11(八女市)、1/13(大牟田市)
退所8名	4/27(入院)、8/3(逝去)、8/8(逝去)、8/18(逝去)、8/30(逝去)、10/13(逝去)、12/8(逝去)、12/9(逝去)

### <事故防止委員会>

- ・外部委員会1回、小委員会7回実施し、5月の福祉機器使用における重大事故に関しては、援護の実施機関、みやま市交えて、検証会議を実施した。
- ・重大事故として、受傷7件(骨折6件、受傷1件)、誤薬3件については、福岡県(南筑後保健福祉環境事務所)及び援護の実施機関、みやま市へ報告した。
- ・今年度は、事故の前段階である「ヒヤリ・気づきの時点での対策」「職員間の情報共有」を重点課題とし、事故の防止に努めるように取り組んだ。5月の福祉機器使用時における重大事故を踏まえて、「丁寧な介護」について改めて意識し、午後の申し送りの時間を活用して、事故対策の確認や利用者情報の共有を図った。その中で、ヒヤリハットの提出が伸び悩んでいる状況を踏まえ、12月より、「気づきの報告書」に取り組み、事故の未然防止を図った。12月からの4か月で78件の報告が上がったが、報告に対しての対応、情報共有などに時間や課題を要している状況であり、来年度の課題として取り組む必要性を感じた。

[報告件数]

(件)

種別	服薬	食事	転倒	転落	受傷	酸素	その他	計
ヒヤリハット報告	5	25	1	6	6	1	11	55
事故報告	11	9	15	8	14	1	44	102

<身体拘束防止委員会>

- ・外部委員会 1 回(3/22)、身体拘束の状況確認会議を適宜実施した。
- ・対象利用者へやむを得ず身体拘束を行う場合の「切迫性」「非代替性」「一時性」の 3 要件について再検討し、必要性や必要時間などの確認を行うことができた。
- ・身体拘束の適正化に関する基本的な考え方について共通理解を深めるため、2 月に職員研修を実施した。身体拘束に関する法制度や当園での取り組み内容、グループワークによる事例検討を通して身体拘束が必要な状況となった場合の考え方について理解を深める機会を設けることができた。

[身体拘束の実施状況] (人)

身体拘束の内容	車いす関連 (ベルト、テーブル等)	ベッド柵	身に着ける もの(介護肌 着、腹帯、ミトン、等)	医療処置中 に四肢を押 さえる	発作時など のビデオ録 画	計 (対象者数)
R5. 4. 1	9	3	5	1	1	19(11)
R6. 3. 31	10	3	6	0	1	20(11)

[補装具使用計画の実施状況] (人)

計画内容	座位保持装置	胸ベルト	腰ベルト	腕ベルト	大腿部ベルト	足ベルト	計 (対象者数)
R6. 3. 31	2	3	2	1	1	1	10(7)

<給食検討委員会>

- ・給食検討委員会を 3 回(5、9、2 月)、給食懇談会を 8 回(6、7、8、10、11、12、1、3 月)実施した。
- ・行事食については、委員会や懇談会意見を参考に、利用者に喜んでいただけるよう工夫した。ノンアルコール、ソフトドリンクを提供し特別感を出した。
- ・嗜好調査については、担当支援員の協力により、意思疎通が困難な利用者さんの意向を普段の食事摂取状況、食事時の表情、姿勢から回答を得ることができた。調査結果を反映し献立作成に努めている。
- ・委員会には業者参加の協力があり、安全な食事提供、よりおいしく提供できる工夫について一緒に検討する機会となった。

[行事食]

実施月	行事	主メニュー
5 月	開園記念	ピースご飯、白身魚天ぷら、生ハムと菜の花のマリネ
6 月	マイリンピック	ハンバーガー、から揚げ、ポテト、卵焼き
7 月	土用丑の日	うな井、オクラとトマトのわさび和え、すまし汁(うな肝)
11 月	オリジナル井	うなぎのかば焼き、牛肉のしぐれ煮、芋天、ようかん
1 月	元旦	昼) おせち料理、雑煮 夕) コロコロステーキ、ハムマリネ
1 月	鍋の日	すきやき、温泉卵、イチゴ
2 月	節分	巻き寿司、茶わん蒸し、つみれ団子の味噌汁、節分菓子
3 月	ひな祭り	ひな祭り茶巾ご飯、マグロの刺身、はまぐりの吸い物

### 3 やまさん所管委員会

#### <やまさん地域委員会>

- ・外部委員会 1 回(5/17)、内部委員会 3 回(4/30、8/11、1/22)実施した。
- ・7 月 7 日には、「夏祭り」を予定していたが、コロナ感染による罹患者が増え中止した。12 月 23 日には、全体行事として高田中学校ブラスバンド部の協力のもと「クリスマス会、餅つき会」を開催し、民生委員の方の参加もあり楽しい時間を過ごした。
- ・独居世帯を対象に自然災害時の避難等について確認した。次年度は、近隣の方の意見を参考に事業所としての役割を考える。

#### <事故防止委員会>

- ・内部委員会 4 回(5/17、6/6、10/17、2/17)実施した。
- ・昨年度から、手書きで記入し朝礼時に口答での伝達を行う方法にヒヤリハットを変更したことで件数が増えた。また、傾向として、忘れ物や送迎に関することが多く挙げられており、その都度、対策を講じているが、日を迫うごとに各々の意識が薄れることが課題となっている。

##### [報告件数]

	食事	服薬	介護	受傷	忘れ物	送迎	その他	計
ヒヤリハット報告	5	2	5	0	62	10	18	102
事故報告	3	3	7	7	11	20	21	72

#### <身体拘束防止委員会>

- ・内部委員会 3 回実施した。身体拘束の対象者については、必要性を確認し状況によって解除できる場面は時間短縮を行った。身体拘束に該当しない車いすに付属するベルト類の対象者についても、個別支援計画に合わせ、6 ヶ月毎のモニタリングを実施することで状況を確認した。

##### [実施状況]

身体拘束の内容	腰ベルト	車いすテーブル	ミトン手袋	介助用ブレーキ	ハイローチェア	計 (対象者数)
生活介護係	1	1	0	3	0	4(3)
子ども支援係	0	0	1	0	1	2(2)